



社会 品質への取り組み

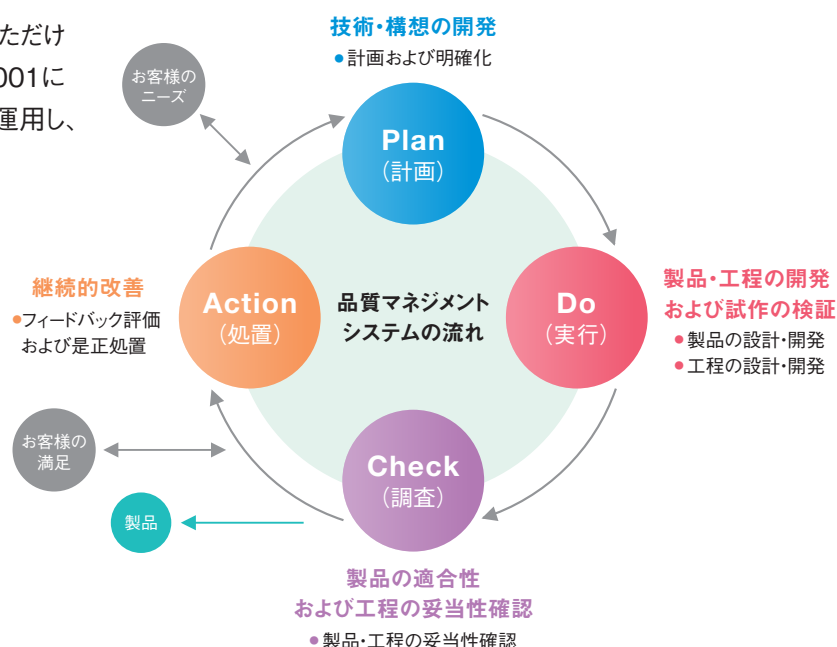
基本的な考え方

EKKグループでは、製品の品質問題はお客様やその先のエンドユーザー様が不適合品を受け取ることに伴い、ステークホルダーの信頼の失墜、さらには会社の存亡に関わる問題と捉えています。

そのため、不適合品を世の中に永遠に一つたりとも出さないという誓いを込めて、2016年以降、「永遠のゼロ」をテーマとして掲げ、「顧客から信頼される製品品質の確保」と「世界同一品質の確保」に向けて、品質の飽くなく改善・向上に取り組んでいます。

品質マネジメント体制

EKKグループでは、お客様にご満足いただける製品を継続的に提供できるよう、ISO9001に基づく品質マネジメントシステムを構築・運用し、品質の維持向上に取り組んでいます。



品質国際規格認証取得状況

会社・事業部名	業界	取得規格	取得年月
イーグル工業(株)AI・CI事業部	自動車・建設機械 原子力発電	ISO9001	1999年 5月
		IATF16949	2018年 3月
イーグル工業(株)船用事業部	船舶	ISO9001	1994年 3月
イーグル工業(株)航空宇宙事業部	航空宇宙	JIS Q 9100(ISO9001含む)	2004年 4月
イーグル工業(株)ESMカンパニー	半導体	ISO9001	2020年 6月
イーグル工業(株)SI事業部	半導体	ISO9001	2023年 3月
イーグルブルグマンジャパン(株)新潟事業場	一般産業機械	ISO9001	1999年 3月
(株)パルコム	計測器	ISO17025(試験所・校正機関認定)	2021年12月

社会 品質への取り組み

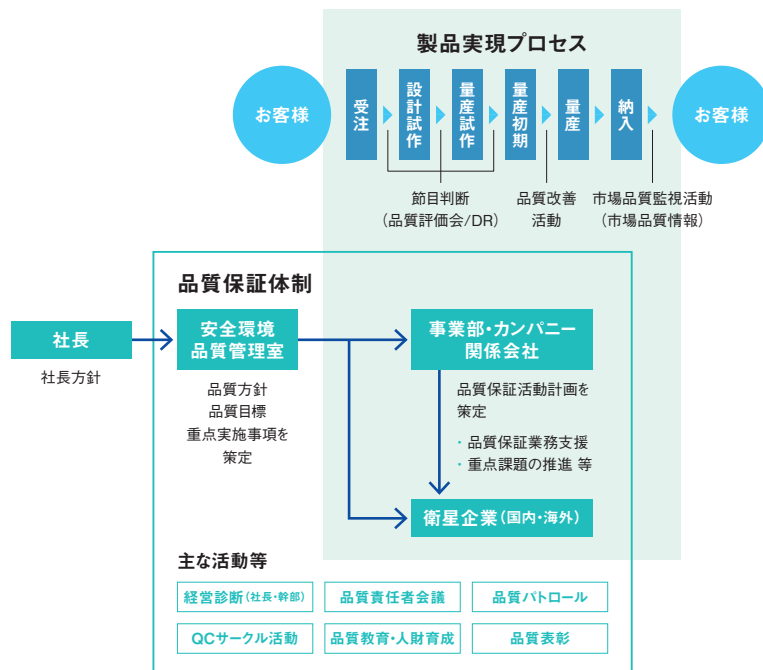
品質保証体制

EKKでは、社長方針を受けて安全環境品質管理室が、年度ごとに品質方針・品質目標・重点実施事項を策定しEKKグループに展開しています。これを受け各事業部が品質保証活動計画を策定し、事業部各部署および管轄する国内外の子会社へ展開しています。

事業部各部署および子会社は、示達された品質目標を達成するための具体的な活動計画を年度品質保証活動計画に落とし込み、全部門で品質向上活動に取り組んでいます。

品質方針等の展開に際しては、安全環境品質管理室が品質責任者会議を開催し、各事業部の品質管理責任者を招集し、内容に対する理解を合わせ、深めるようにしています。品質責任者会議においては、方針展開以外にも品質保証活動計画の進捗状況の確認のほか各種情報交換を行い、EKKグループ全体での品質レベルの統一とボトムアップを図っています。

毎年、社長および経営幹部による各事業部・海外生産子会社における現地経営診断、安全環境品質管理室による品質パトロールにより、品質保証活動の点検・確認を行い、有効性のある継続的な改善につなげています。



品質向上に向けた取り組み

EKKでは受注から納入までの各プロセスにおいて、品質向上に向けた独自の取り組みを行っています。

市場品質情報の監視活動

EKKでは、お客様からの苦情や製品の調査依頼など、市場における製品の品質情報を積極的に収集・分析し、重大な品質問題につながる兆候がないか常時監視しています。

これらの調査・分析結果から得られた情報は、社内担当部門への展開に留まらず必要に応じてお客様へもフィードバックさせていただき、製品品質の向上に役立てています。

品質評価会による各種製品の量産移行前審査

EKKでは、お客様の要求仕様を満たすため、または、納入する製品の品質問題の発生を未然に防止することを目的として、新規開発品・設計変更品・工程変更品等に対して、品質評価会を開催しています。

品質評価会は、対象となる製品の使用用途・新規性・変更内容等を考慮して評価されたリスクに応じて開催要否が決定され、構想設計、設計試作、工程設計、量産移行の決められた段階で開催しています。

各段階の決定、および量産への移行可否の判断は、安全環境品質管理室長が行っています。

工程内不適合品低減活動

EKKでは苦情の未然防止を目的として、工程内不適合品低減活動を積極的に推進しています。

各事業部・子会社では、毎年様々なテーマで活動を行っていますが、近年特に製造現場が主体となって取り組む活動が大きな成果をあげています。

この活動はお客様が実施されている活動を参考に導入したもので、現場に不適合品を展示し、その場で不適合現品を確認しながら不適合品低減対策を検討します。

一つ一つの不適合事象に対し、不適合品発生部門が中心となり、また、他の部門も参画することで、全員が一丸となって真因の追求・根本対策の立案につなげています。

本活動は、「永遠のゼロ」の実現に寄与することはもちろんのこと、製造作業員一人ひとりにまで「品質は工程でつくり込む」という考え方を浸透させ、各々が自工程で発生させた問題の解決に対して積極的に取り組むという意識向上に大きく貢献しています。



人財育成のための品質教育

EKKでは、階層別に品質教育を行っています。

品質の永続的な維持向上を目的に次世代を担う品質管理人財の育成のため、若手社員に対する品質に関する知識レベルの向上のための初級教育、また、中堅社員に対する問題解決能力向上のための中級教育を中心に実施しています。

基本的な「QC七つ道具」に始まり、「なぜなぜ分析」や「MSA*」等の各種統計手法の使い方等に至るまで、10以上の講義を設けており、一部の講義ではグループ演習を通じて手法を習得できるようカリキュラムを組んでいます。

2020年度以降はコロナ禍による人流の制限から、Web講義を活用した品質教育を導入し、日々改善をしながら実施しています。

尚、初級教育は2017～2022年度で890名受講、2019年度から開始した中級教育は2022年度までに306名が受講しています。

*: Measurement System Analysisの略で、測定システムの妥当性を定量化して評価する手法。



初級	中級	専門
● TQCとTQM ● QCストーリー ● QC七つ道具 など	● なぜなぜ分析 ● 基本統計量 ● 管理図 など	● 重回帰分析 ● 実験計画法 ● MSA など

品質意識向上のための品質教本

高い品質を維持していくためには、高い品質意識を持った人財の育成が欠かせません。EKKでは、2019年度に『永遠のゼロ（EKK品質管理教本）』を発行し、社員の品質に関する知識の向上を目的として、また、困ったときにすぐに確認できるノウハウ集として、全社員に配布し活用しています。

本教本は、英語、韓国語、インドネシア語、タイ語、中国語（繁体字・簡体字）、フランス語に翻訳し、海外の会社にも配布しており、グローバルでの品質意識向上に役立っています。



QCサークル活動

EKKグループでは、従業員が主体となって行う小集団での品質改善活動として「QCサークル」活動を行っています。

QCサークルは、職場などで形成した小さなグループで行う活動で、身近な問題点からテーマを掲げて、サークルメンバー全員で解決していきます。メンバーの能力向上と併せて、職場の活性化も狙った重要な活動となっています。

各事業部は、毎年活動発表会を開催し、事業部・国内海外子会社のサークルグループの中から、EKKグループQCサークル大会に出場する代表サークルを選出しています。

2022年度は、第17回EKKグループQCサークル大会を開催し、各事業部から選出された国内7サークル、海外2サークルが出場し、成果発表をしました。コロナ禍という状況を考慮し、参加人数を制限した上で行う対面での発表と、海外1社のみリモートでの発表というハイブリッド形式での開催とし、各拠点にWebで配信しました。



品質表彰制度

EKKグループでは、品質改善活動の活性化とモチベーション向上を目的として、社内品質表彰制度を導入しています。

この制度では、国内のEKKグループ全従業員の品質意識を向上させるため、身近な活動・組織単位で優れた品質改善活動の推薦を促しています。推薦された品質改善活動の中から、年に一度優れた品質改善の成果を挙げた組織を表彰しています。

品質DX推進

EKKグループでは、品質に関する情報のデータベース化を行い、品質情報の集積を行っています。

既存の書類を電子化することによるペーパーレス化、既存の業務フローを電子化することによる情報展開の迅速化を進め、業務の効率化やスムーズな情報展開、情報収集の自動化を推進しています。

蓄積された品質情報は、製造・設計データ、顧客情報等と連携させ、または、設計開発等の様々な場面で有効活用します。